

- ② 「小さな親切」実行章 受章者590万人達成
受章者 劇団四季
記念インタビュー 四季(株) 代表取締役会長 佐々木典夫
- ⑥ 「伝えよう、日本の心プロジェクト」いよいよ始動!
- ⑧ この道ひとすじ「金子みすゞ愛のメッセージ」
シンガーソングライター ちひろ
- ⑨ 子どもたちの心の成長を見守り50年
埼玉県与野支部
- ⑩ 「小さな親切」実行章ウォッチング
ALSOK宮城(株)／(公財)東京タクシーセンター
- ⑫ 杉忠重理事を偲んで
- ⑬ コラム「これってどうなの?」／のんちゃんのおすすめ紹介
- ⑭ Information & HIROBA



表紙写真

- ①: あいさつで学校や地域を元気に (三重県 鈴鹿市立天名小)
- ②: 新入生を迎える桜 (千葉県 専修大学松戸中学・高等学校)
- ③: 寒さに負けず元気なあいさつ (山形県 高島町立和田小)
- ④: 春の訪れを告げるつくし (東京都 神代植物園)
- ⑤: 名物の深大寺そば (東京都)
- ⑥: 劇団四季「ユタと不思議な仲間たち」

「小さな親切」誌は、季刊発行
春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2019年5月1日発行 通巻514号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL. 03-3263-2866 FAX. 03-3263-3838
<http://www.kindness.jp/>

印刷所 広研印刷株式会社

©無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。

デザイン・DTP 有限会社リトルフット

イラスト P13: 安彦麻理絵



輝き続ける「友情のメダル」

代表 鈴木恒夫

ことし3月中旬、私は例年どおり、母校・横浜市立の小学校の卒業式に招かれ、来賓席で卒業生たちの姿に感動するひとときを過ごした。

その時、頭によみがえったのは、この学校で6年生の時、国語の教科書で読んだ「友情のメダル」の物語だ。来年の東京オリンピック・パラリンピックまで、あと1年あまり。「いまの子どもたちはこの物語を知っているのだろうか。知らないのなら、ぜひ教えてあげてほしいものだ」。

ご年配の方は多分どなたもご存じだろうが、この物語の主人公は西田修平さん。1936(昭和11)年夏のベルリン・オリンピックの棒高跳び競技に出場した早稲田大学生の日本代表選手で、慶応大学生の大江季雄さんと揃って決勝に進出。優勝はアメリカ代表選手に譲ったものの、二人は午後4時から5時間半にわたって大激戦を展開、夜更けの2・3位決定戦を控えて、大江さんが先輩の西田さんに2位を献上。場内マイクがこのことを伝えると、大観衆から割れるような拍手が鳴り響き続けた。

公式記録としては2位に西田さん、3位に大江さん。しかし、西田さんは順位にこだわらず、大江さんへの思いを胸に、帰国後に銀メダルを半分に切って大江さんに譲り渡し、大江さんは銅メダルの半分を西田さんに。お二人はそれぞれをつなぎ合わせ、このエピソードが「友情のメダル」として世に感動を巻き起こしたのだった。この美談は戦後の

国語教科書に、お二人と同じような陸上競技の名選手だった織田幹雄さんの筆によって掲載された。

西田さんは卒業後に、民間企業の役員など社会人としても見事な勤めを終え、晩年は横浜市北部のご自宅に。大学の後輩である私は、ごく間近なところに住んでいたこともあり、衆議院議員選挙に挑戦した際に、後援会会長をお引き受けいただいた。間に立って下さったのは、同じ早稲田の陸上競技部後輩の河野洋平さん。毎日新聞記者上がりで、全くゼロからのスタートだった私が当選できたのも、西田さんのご人徳のお蔭だったと思う。

しかし、さすがの西田さんもやがて病魔に見舞われ、ご自宅での闘病生活に。お見舞いに参上した私に、ベッド上の西田さんは、無言のまま。しかし、間違いなく、かすかな笑顔を見せて下さった。帰り際、ご子息さんが私を玄関までお見送りに来られ、声をふりしぼるようにして、こうおっしゃられた。

「父は病に倒れてこのかた、“痛い” だの“苦しい” だの、あるいは“辛い” だのといった言葉は、ただの一度も、漏らしたことはありません。家族の誰にも余計な思いをさせたくないという……。いかにも父らしい……」。

「友情のメダル」は西田さんの没後、長女の方から早稲田の記念館に寄贈され、今日も燦然と光り輝きつづけている。